

長良川国際会議場天井落下防止措置ほか改修工事業における PPP/PFI 手法導入の評価結果の公表について

長良川国際会議場天井落下防止措置ほか改修工事業について、「岐阜市 PPP/PFI 手法導入優先的検討に関する指針」に基づき、PPP/PFI 手法導入の適否について評価を行いましたので、その結果を公表します。

PPP/PFI 手法簡易定量評価調書を活用して費用の比較を行い、事業の効率性、事業期間等について評価を行った結果、本事業は PPP/PFI 手法の導入に適さない事業であると評価され、従来方式により建設を行うことといたしました。その理由は次の通りです。

本事業は PPP/PFI 手法の導入により、財政支出では 3.5%の削減が見込まれます。一方、財源の面では、本事業を令和 7 年度までに完了させれば、事業債の充当率及び交付税参入率で有利な事業債を利用することで、市の負担を 45%削減することが可能となります。

そのため、契約手続き等に時間を要する PPP/PFI 手法を導入せず、従来方式を採用することといたしました。

なお、本事業を実施する長良川国際会議場の維持管理・運営については、既に指定管理者制度（PPP 手法）を導入済みです。

事業名	長良川国際会議場天井落下防止措置ほか改修工事業
公表日	令和 5 年 4 月 24 日
検討種別	簡易な検討
事業目的	長良川国際会議場において、脱落によって重大な危害が生ずるおそれがある吊り天井の落下防止工事を実施するのに合わせて、開設後 27 年の間に経年劣化が進んでいることを受け、施設の保全を目的とした建築、電気設備、機械設備の改修工事を行う。
簡易定量評価 VFM（財政支出削減率）	DB 方式：3.5%
評価結果	従来手法による実施
担当課	ぎふ魅力づくり推進部 観光コンベンション課（電話 058-214-2103）